

鈴鹿ベイロータリークラブ

例会日 木曜日 18:30~19:30
 例会場 鈴鹿サーキットホテル
 事務局 〒510-0295 鈴鹿市稲生町7992
 鈴鹿サーキットホテル
 TEL 059(379)2484 FAX 059(379)2770



Rotary 

ロータリー：
変化をもたらす



第1280回 例会報告 (2017年12月7日)
年次総会
会長、幹事

■司会 / 中野 強 SAA ■ロータリーソング / 君が代、奉仕の理想

■会長挨拶 / 大泉博典 会長

先週に商工会議所で講演がありました。講師は随筆家で元新橋のNO1芸者さん千代里氏でした。同志社女子大学卒業後、周囲の反対を押し切り、幼い頃より憧れていた花柳界入りを叶え、新橋芸者としてお披露目後一年でお花代のNO1になり一躍売れっ子芸者に世界のVIPをもてなす多忙な日々の中で体調を崩し現在は芸者を引退、はじめてのエッセイ「捨てれば入る福ふくそうじ」執筆活動を開始されました。

その中で立派な方は、そうじも立派というお話でした。「立派な方は皆きれい、偉いとか立派とか素敵・魅力的と言われてる方は皆さん揃って「見た目がきれい」「言葉がきれい」「動作やしぐさがきれい」「心がきれい」との事です。私にはあてはまりません。そんな中休みの日は「妻には休みがないんだから、自分が休みの時ぐらい部屋のそうじや家のそうじをして助けてやらないとかわいそうだろ」との事です、私にはあてはまりませんが努力したいと思います。

■幹事報告 / 磯部弘生 幹事

- (1) ガバナー事務所は12月28日(木)~1月5日(金)、ガバナーエレクト事務所は12月28日(木)~1月4日(木)と年末年始休暇のお知らせが届いております。
- (2) 当クラブ事務所の年末年始休暇は、12月28日(木)~1月4日(木)です。
- (3) 7ベイRC友好会開催について
 開催日；2018年5月12日(土) 場所；梅田スカイビル36階スカイルーム
 サミット会議；17:00~18:15 例会・懇親会；18:00~21:00
- (4) クリスマス家族例会開催について
 日時 12月26日(火) 18:30~ 場所 ミルク
- (5) 12月ロータリーレートは 1\$=112円です。

■出席報告

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
12月7日	12名	9名	3名	75.00%

2週間前の補正後出席率 12名中 9名 75.00%

■ニコボックス

- 大泉博典……本日は総会です。みなさまよろしくお願ひします。
- 遠藤龍夫……本日もよろしくお願ひします。
- 宮崎弘夫……半期が経過しました。今日もよろしくお願ひします。
- 川岸憲博……平野さん、次年度よろしくお願ひします。

■ 例会 / 年次総会 / 会長・幹事

2017-2018年度 鈴鹿ベイロータリークラブ 年次総会が開催され、会長エレクト・理事の選任が行われ、全員一致にて承認されました。選任は次のとおりです。

会長エレクト	平野 泰治 君
直前会長	大泉 博典 君
会員維持・増強部門	中野 強 君
奉仕部門	磯部 弘生 君
広報部門	宮崎 弘夫 君
クラブ運営部門	谷田 義弘 君
幹事	宮崎 弘夫 君



■ ロータリーの「多様性という価値観」

2630 地区 PDG 服部芳樹 (岐阜)

十余年前のころ「金太郎あめクラブ」という言葉がよく使われました。どのクラブへ行っても、まったく同じパターンの例会・委員会構成・奉仕活動・・・それがこの頃、(良くも悪くも) さまざまな変化が見られるようになりました。

例会一つ取り上げてみても、会長挨拶とともに食事を始めたり、例会前 30 分食事時間を設けて 1 時間みっちり例会に充てたり。そのような変化なら良いのですが、夜間例会前に飲酒できる用意をして、「和気あいあいの集い」と誇らしげに語るクラブもあり、一方例会場は道場と心得、入るに一礼するクラブもあり、行事進行中は私語の一つも聞こえてこないところがあるかと思えば、携帯の着信音が鳴り響いたり、卓話中に居眠りならまだしも、椅子の向きも変えないで話し合っているところもあるといったことも「多様性」として許容されるのでしょうか？

甚だしいのは、make up にきて食事がすむと挨拶もなく堂々と退席。「ロータリーよ 何処へ行く 昼飯食いにゆく」とはこのことです。先の「ロータリーよ 何処へ行く 一杯飲みに行く」(多分親睦のよき実践と信じている) クラブにしても、クラブの品格=ロータリアンの品位など、死語と化しているのでしょうか。ロータリーに対するこの考え方の相違は、「例会には、スーツを着てゆくものだと思っていたら、ジーパンとスニーカーで来た。この人にロータリーを説くのは徒労？」との喩え話の通り、その良し悪しを既存の常識では判断できないようです。

その一方、歴史ある多人数クラブの例会をいくつか経験しましたが、やはりマナーが自然の流れになり、早退する方は、ドアの前で振りかえり一礼してから出ていかれました。会長挨拶はロータリーに結び付けての話、開始終了の点鐘も起立し一揖した後、会員が席を立つときは同席者同士の挨拶は無論、椅子もきちんと元に戻すなど気品に満ちた快い例会でした。奉仕の理想の心(理念)は黄金律の心、四つのテストの心、おもてなしの心にも通じるのですが、「おもてなし」の表わし方にはマナーが第一、マナーあってこそ、その心がおのずと言行に現れるのではないのでしょうか。

例会は懇親の集いにすぎず、ボランティア団体奉仕を旗幟とするクラブを否定するつもりはありません。しかし、日本のロータリーの伝統は「例会出席」をロータリーの活動の原点として、例会は人格を磨くところと位置付けられています。これが世界のロータリーに背を向けるものであっても、日本の誇るロータリーの主体性であり、多様性の名の下に、この独自性を発信できるものと思います。